

IZUMI DATA BOOK 2026

いずみデータブック 男女をとりまく状況

和泉市



Contents

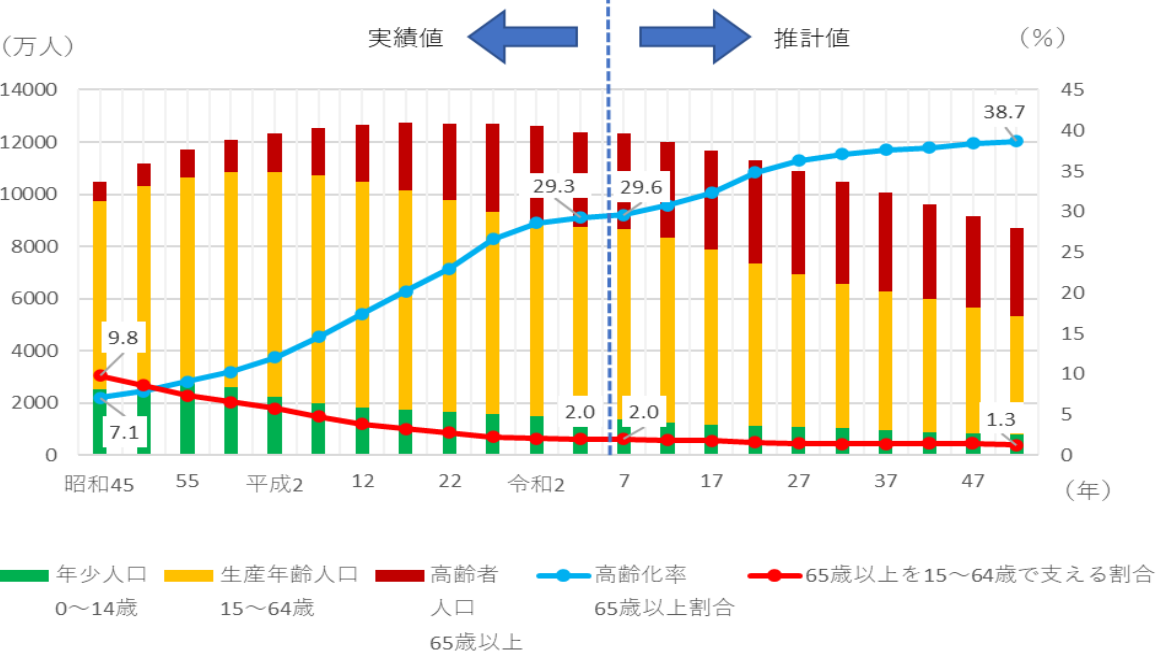
① 人口と家族	(P1)
1 少子高齢化の将来推計	
2 高齢化率の推移	
3 平均寿命と健康寿命	
4 世帯構造の推移	
5 インターネットの利用率	
② 結婚と出生	(P4)
6 婚姻率と離婚率の推移	
7 出生数と合計特殊出生率の推移	
③ 政策方針決定	(P5)
8 議員の女性割合の推移	
9 審議会等委員の女性割合の推移	
10 公務員管理職の女性割合の推移	
11 民間企業管理職に占める女性割合の推移	
④ 教育	(P7)
12 学校種類別進学率の推移	
13 本務教員総数に占める女性の割合	
⑤ 労働	
14 男女の賃金格差	(P8)
15 育児休業の取得状況	
16 共働き世帯数と専業主婦世帯数の推移	
17 女性の年齢階級別労働力率の推移	
⑥ 男女の平等観	(P10)
18 「社会全体」での男女の地位の平等感	
19 固定的な性別役割分担意識	
⑦ 女性に対する暴力	(P11)
20 配偶者間からの被害経験	
21 配偶者暴力相談支援センターの相談件数	
22 和泉市における配偶者等からの暴力に関する相談件数	
⑧ 国際比較	(P13)
23 女性の年齢階級別労働力人口比率国際比較	
24 ジェンダー・ギャップ指数とジェンダー不平等指数	

1

人口と家族

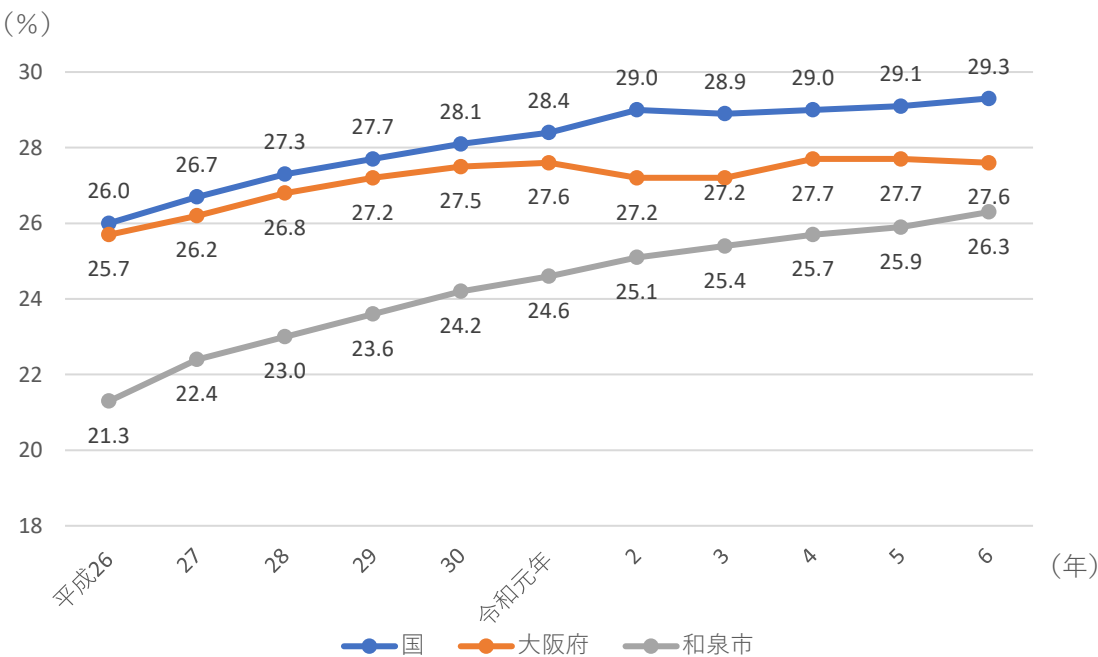
1 少子高齢化の将来推計

令和6年の高齢化率は29.3%(実績値)、令和52年には38.7%(推計値)と予想されている。



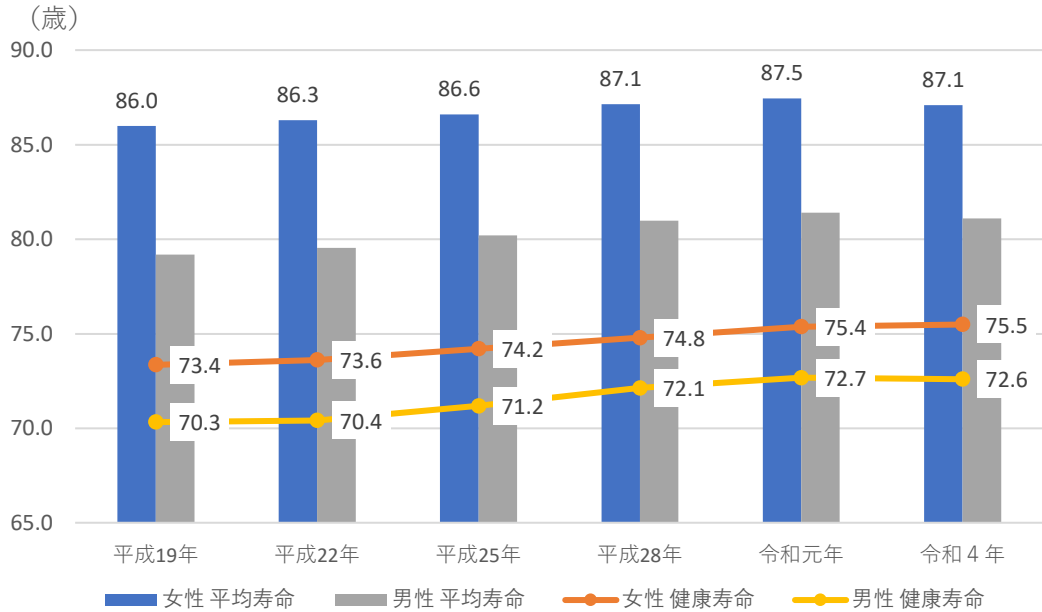
2 高齢化率の推移(国・大阪府・和泉市)

高齢化率は引き続き上昇し、和泉市は全国より3.0ポイント低く、約4人に1人が高齢者となっている。



3 平均寿命と健康寿命

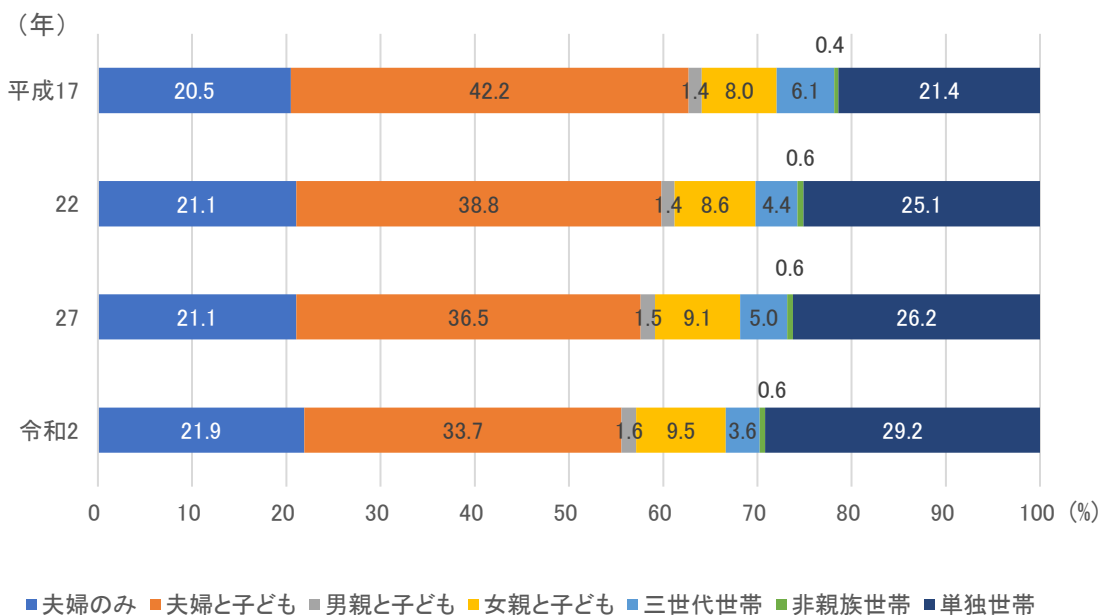
健康寿命(健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間)は年々延びている。



資料出所:厚生労働省 平均寿命は平成19・28・令和元・4年「簡易生命表」、平成22年は「完全生命表」、健康寿命は厚生労働科学研究において算出

4 世帯構造の推移

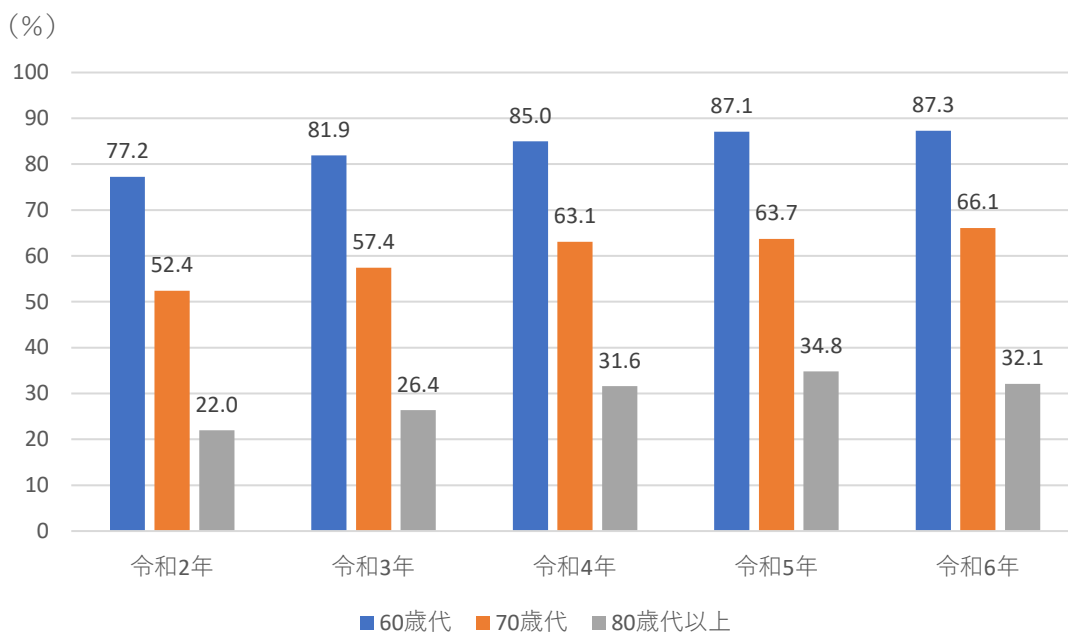
「三世代世帯」と「夫婦と子ども世帯」が減少し、「単独世帯」は年々増加傾向にある。



資料出所:国勢調査

5 インターネットの利用率

60歳代、70歳代の利用率は依然増加傾向にあるが、80歳代の利用率は減少した。



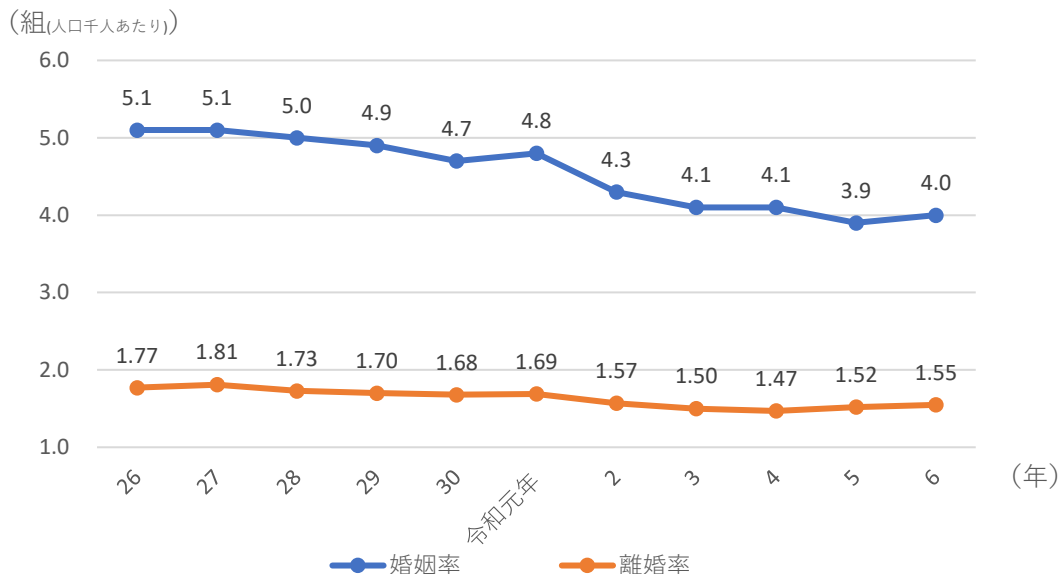
資料出所:総務省「通信利用動向調査 統計表一覧(世帯構成員表)」過去1年間のインターネット利用経験

2

結婚と出生

6 婚姻率と離婚率の推移

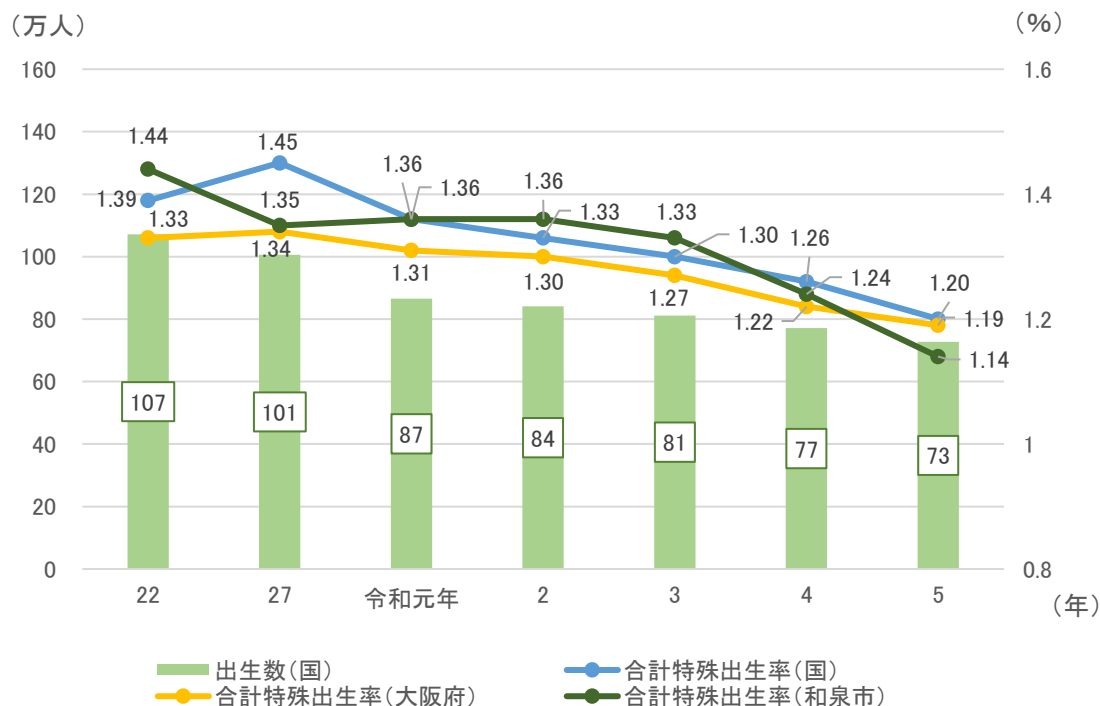
令和6年の婚姻率と離婚率はともに令和5年より増加したが、長期的にみると減少傾向にある。



資料出所:厚生労働省「人口動態統計」

7 出生数と合計特殊出生率の推移(国・大阪府・和泉市)

令和5年の出生数は、令和4年の770,759人から43,471人減少し、和泉市の令和5年の合計特殊出生率は、令和4年の1.24%から1.14%に低下した。



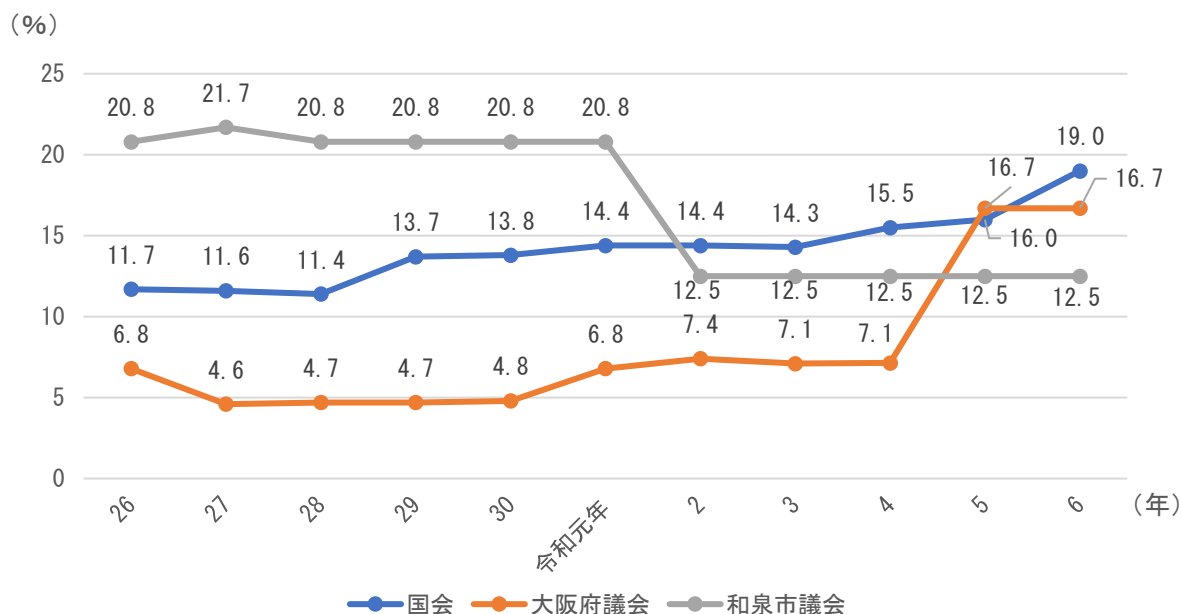
資料出所:厚生労働省「人口動態統計」、和泉市人権・男女参画室調べ

3

政策・方針決定

8 議員の女性割合の推移(国・大阪府・和泉市)

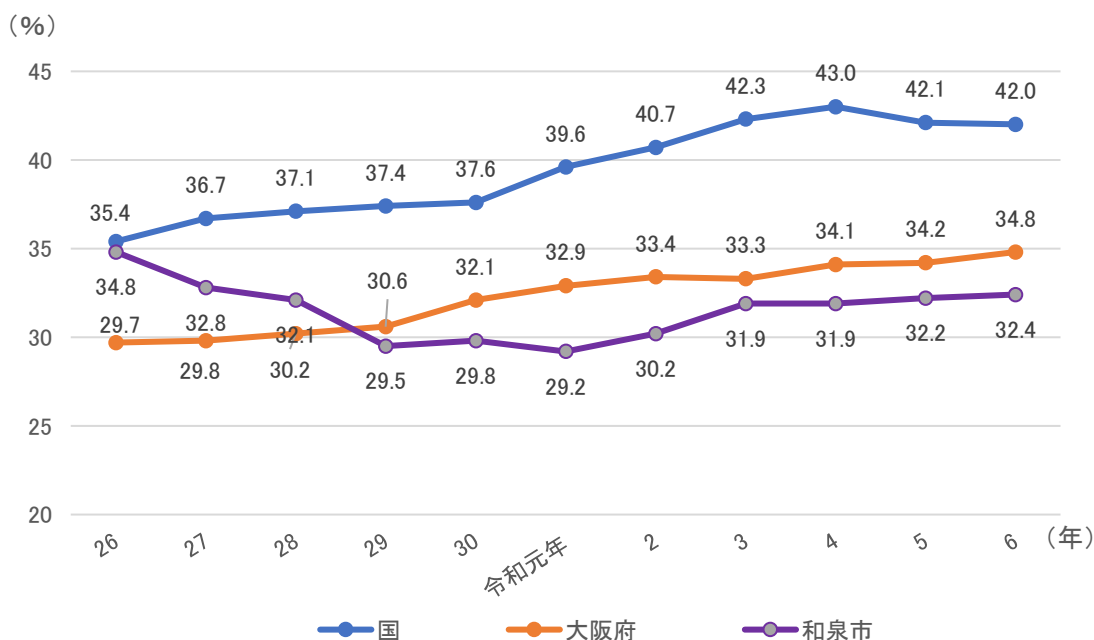
和泉市の市議会議員の女性割合は令和2年以降、12.5%で横ばいとなっている。



資料出所:和泉市人権・男女参画室調べ

9 審議会等委員の女性割合の推移(国・大阪府・和泉市)

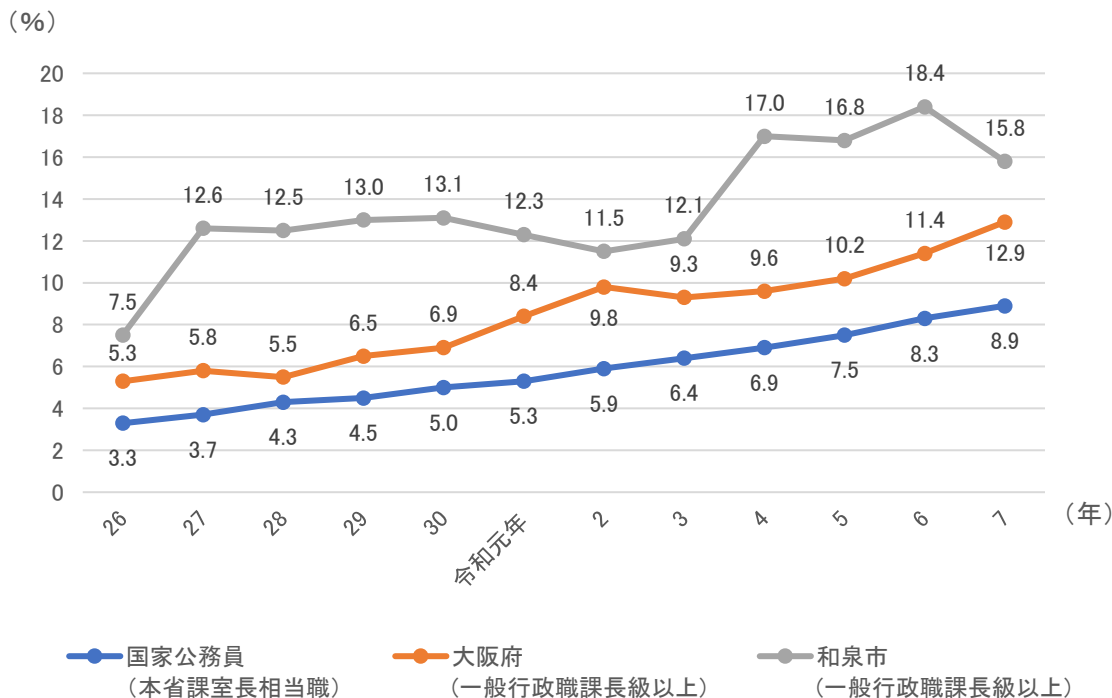
和泉市の令和6年の審議会等委員の女性割合は32.4%と0.2ポイント増加したが、国・大阪府よりも低い。



資料出所:内閣府「国の審議会等における女性委員の参画状況調べ」(各年9月30日現在)、和泉市人権・男女参画室調べ

10 公務員管理職の女性割合の推移(国・大阪府・和泉市)

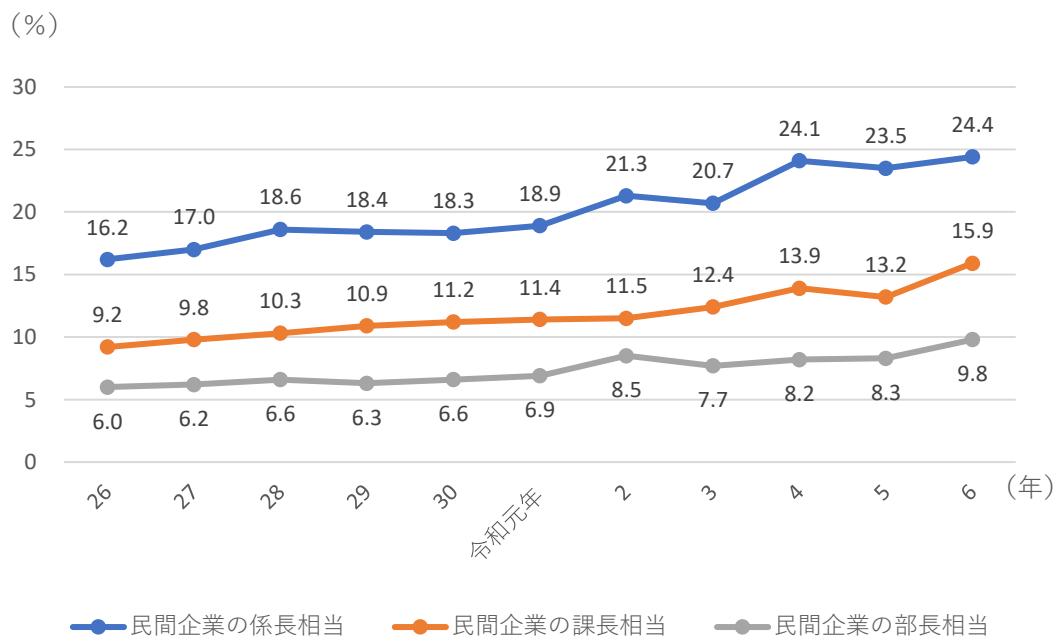
和泉市における公務員管理職の女性割合は15.8%となり前年より減少したものの、依然として国・大阪府を上回っている。



資料出所:和泉市人権・男女参画室調べ

11 民間企業管理職に占める女性割合の推移(常用労働者100人以上を雇用する企業)

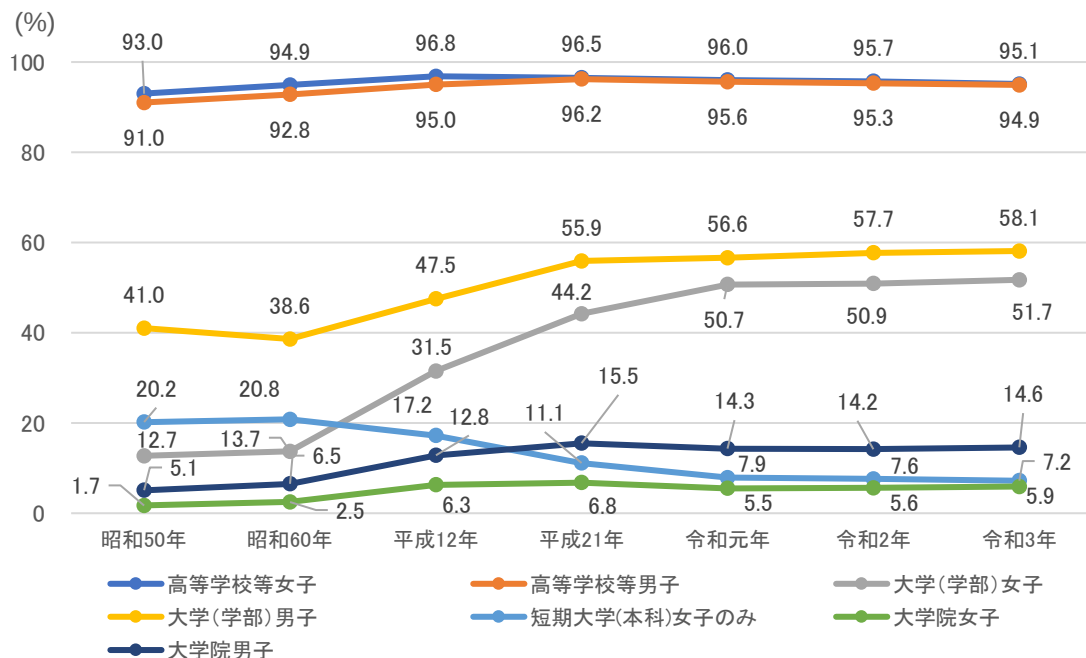
上位の役職ほど女性割合は低い。



資料出所:内閣府男女共同参画局「男女共同参画白書 令和7年版」

12 学校種類別進学率の推移

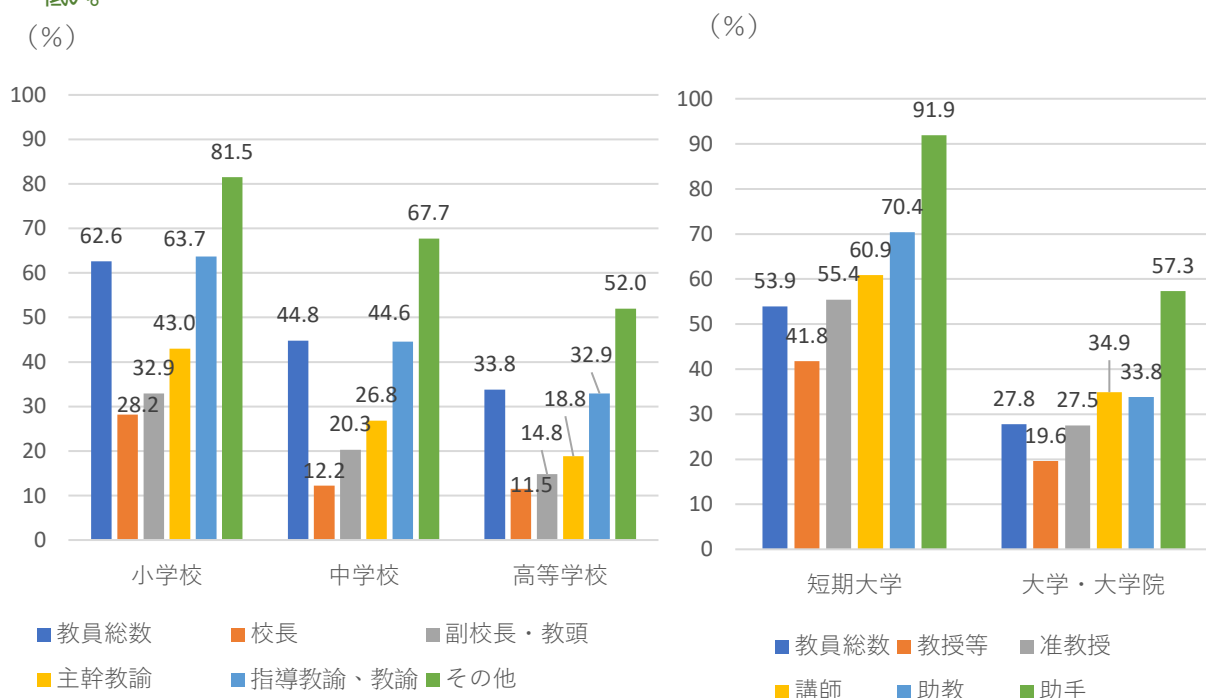
女子の大学院進学率は上昇しているが、依然として男女格差がある。



資料出所:内閣府男女共同参画局「男女共同参画白書 令和4年版」

13 本務教員総数に占める女性の割合

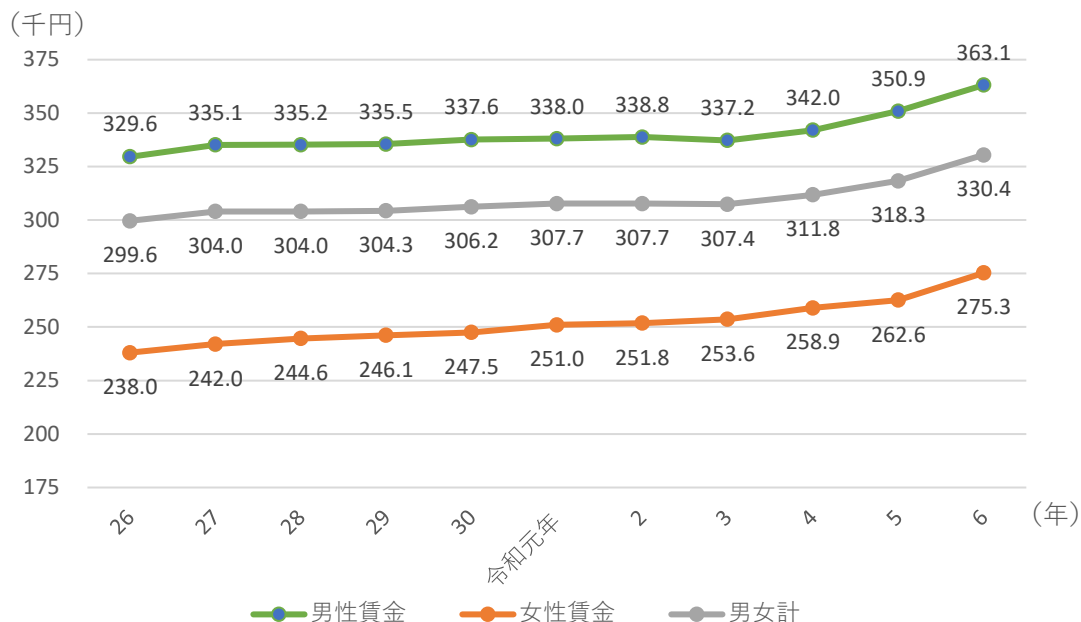
教員の女性割合は、小学校から中学校、高等学校へと教育段階が上がるほど低く、短期大学に比べ大学・大学院でも低い。



資料出所:内閣府男女共同参画局「男女共同参画白書 令和7年版」

14 男女の賃金格差

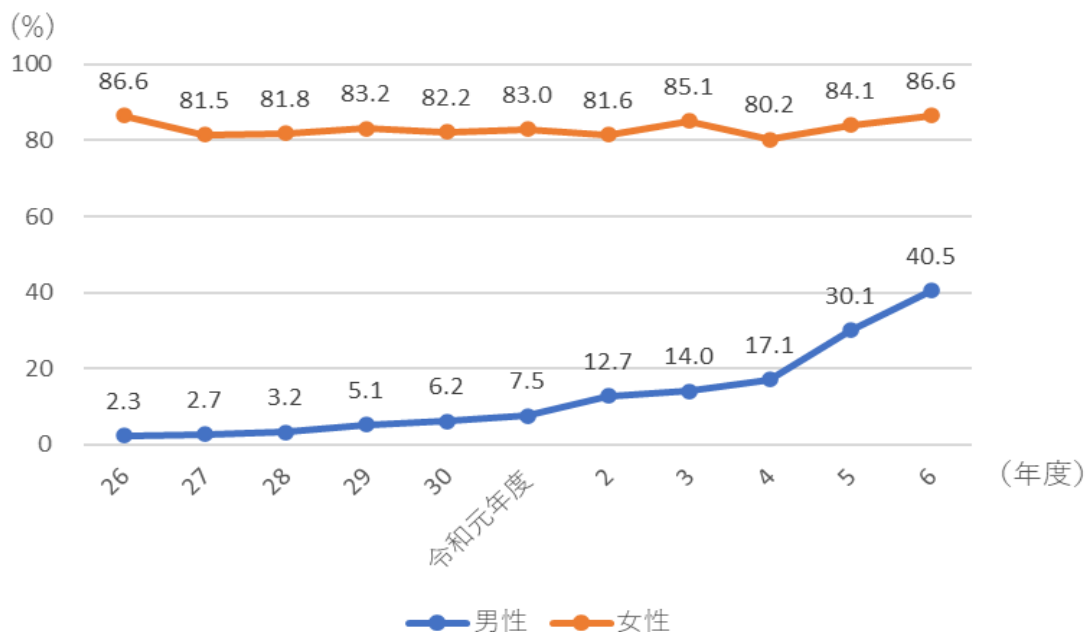
長期的には縮小傾向にあるものの、依然として男女の賃金格差は大きい。



資料出所:厚生労働省「賃金構造基本統計調査」

15 育児休業の取得状況

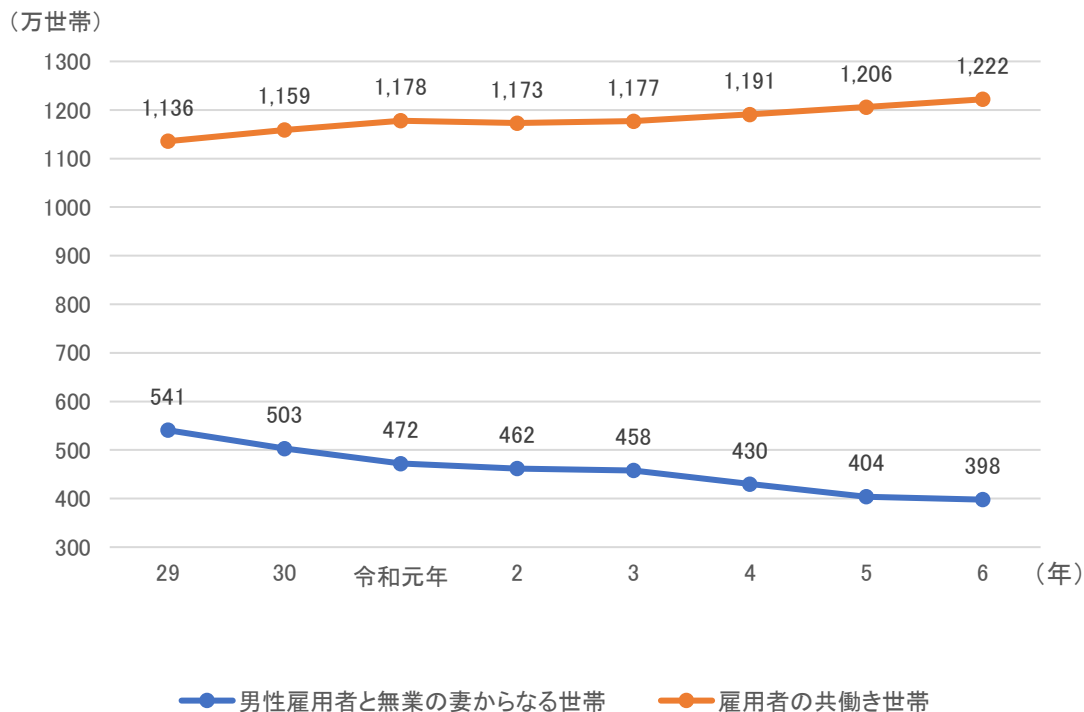
令和6年度の育児休業取得者の割合は女性86.6%、男性40.5%となり、男性は令和5年度より10.4ポイント上昇した。



資料出所:厚生労働省「令和6年度雇用均等基本調査」

16 共働き世帯数と専業主婦世帯数の推移（妻が64歳以下の世帯）

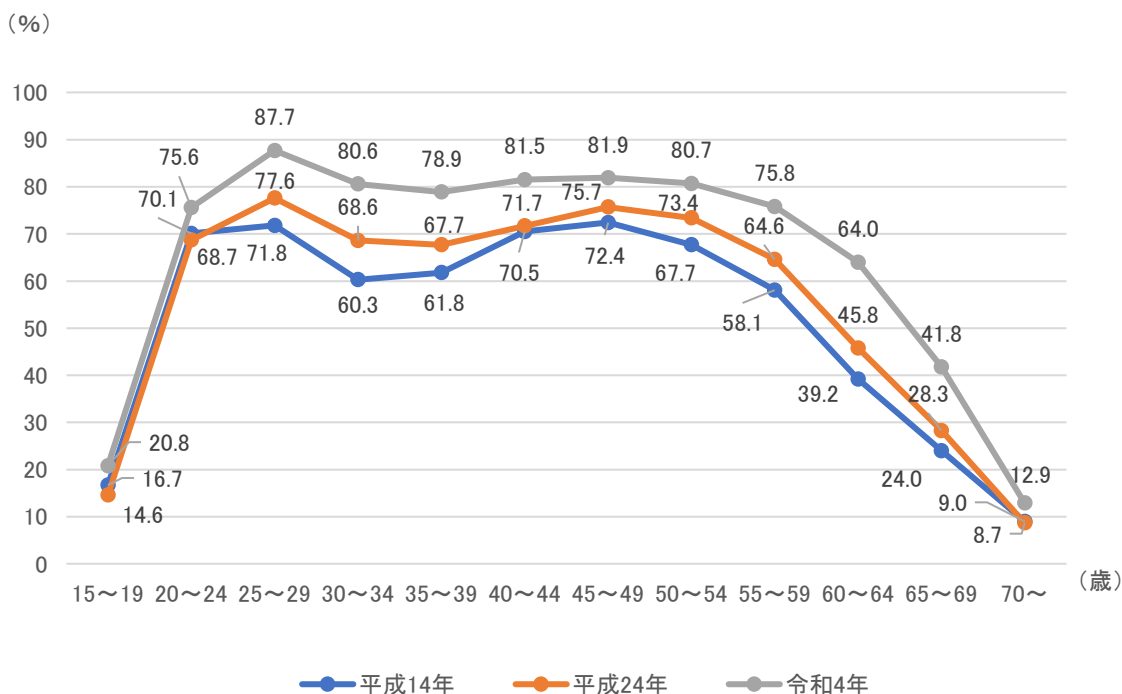
雇用者の共働き世帯は年々増加し、令和6年は1,222万世帯となっている。



資料出所:内閣府男女共同参画局「男女共同参画白書 令和7年版」

17 女性の年齢階級別労働力率の推移

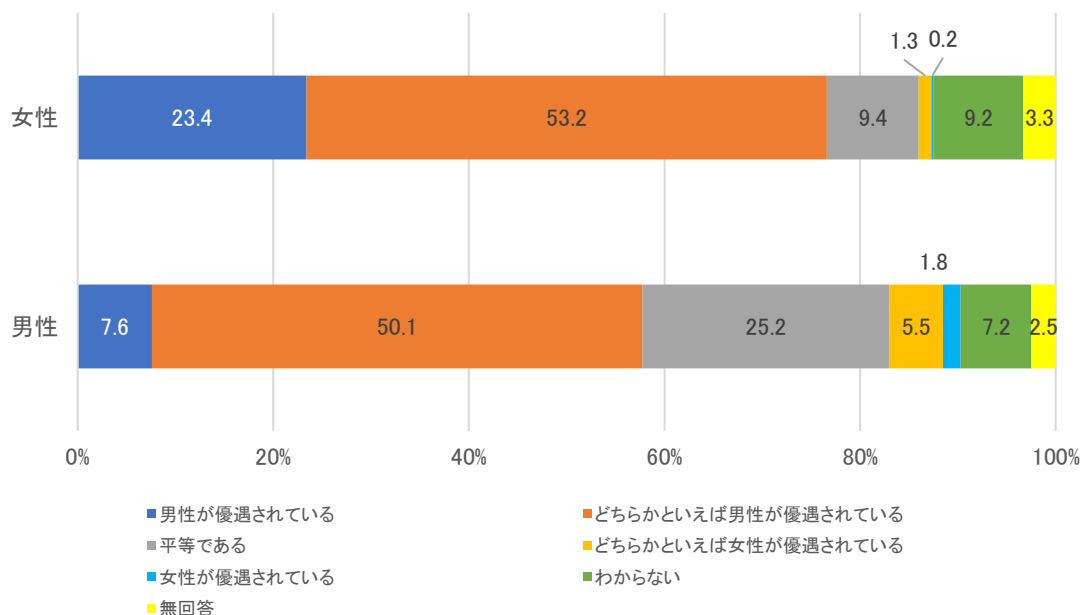
子育て期(20歳代から50歳代)だけではなく全体的に働く女性が増加し、年齢階級間の差がゆるやかで、とくに30歳代の水準は増加している。



資料出所:内閣府男女共同参画局「男女共同参画白書 令和5年版」

18 「社会全体」での男女の地位の平等感(大阪府)

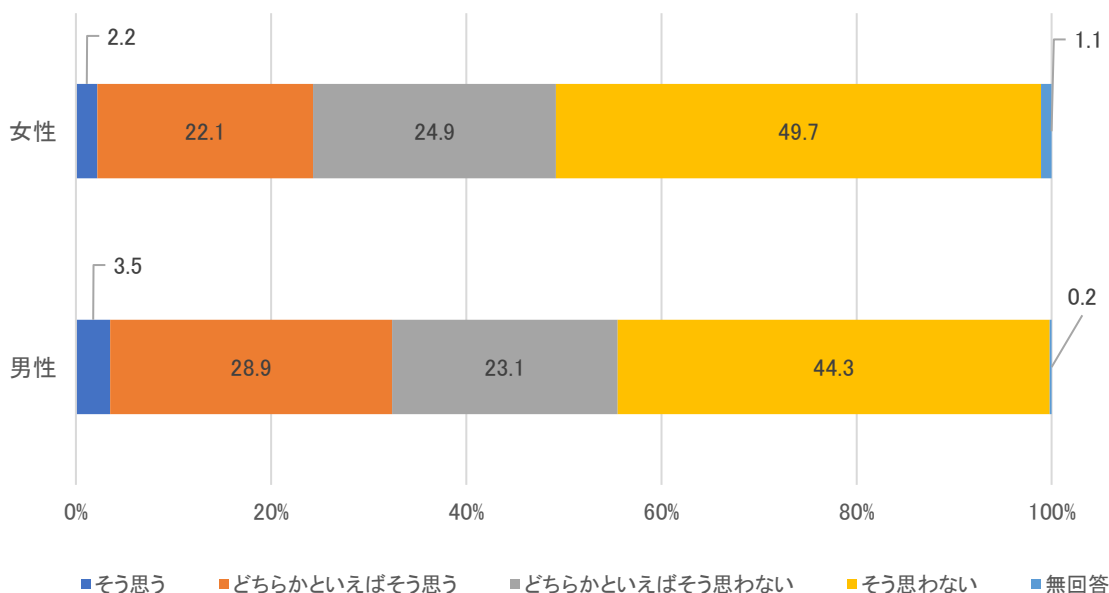
男女ともに「男性優遇」の割合が高いが、平等と回答した人の割合は男性25.2%女性9.4%と女性の方が15.8ポイント低くなっている。



資料出所:大阪府「令和6年度 男女共同参画社会にかかる府民意識調査」(令和6年12月)

19 固定的な性別役割分担意識(大阪府)

「男は仕事、女は家庭」という考え方について、「そう思わない」、「どちらかといえばそう思わない」と回答した人の割合を合計すると、女性74.6%、男性67.4%となっている。



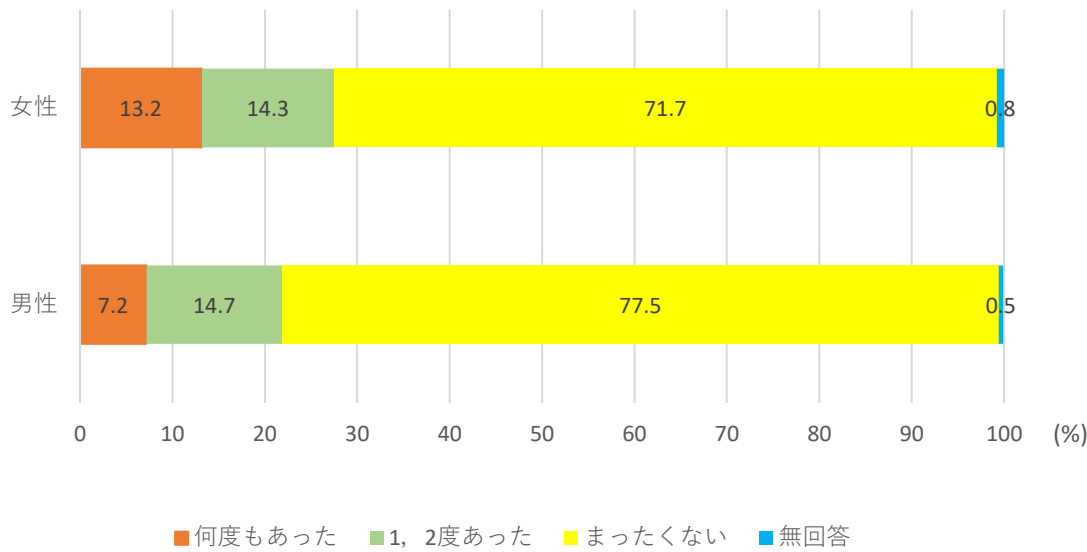
資料出所:大阪府「令和6年度 男女共同参画社会にかかる府民意識調査」(令和6年12月)

7

女性に対する暴力

20 配偶者からの被害経験

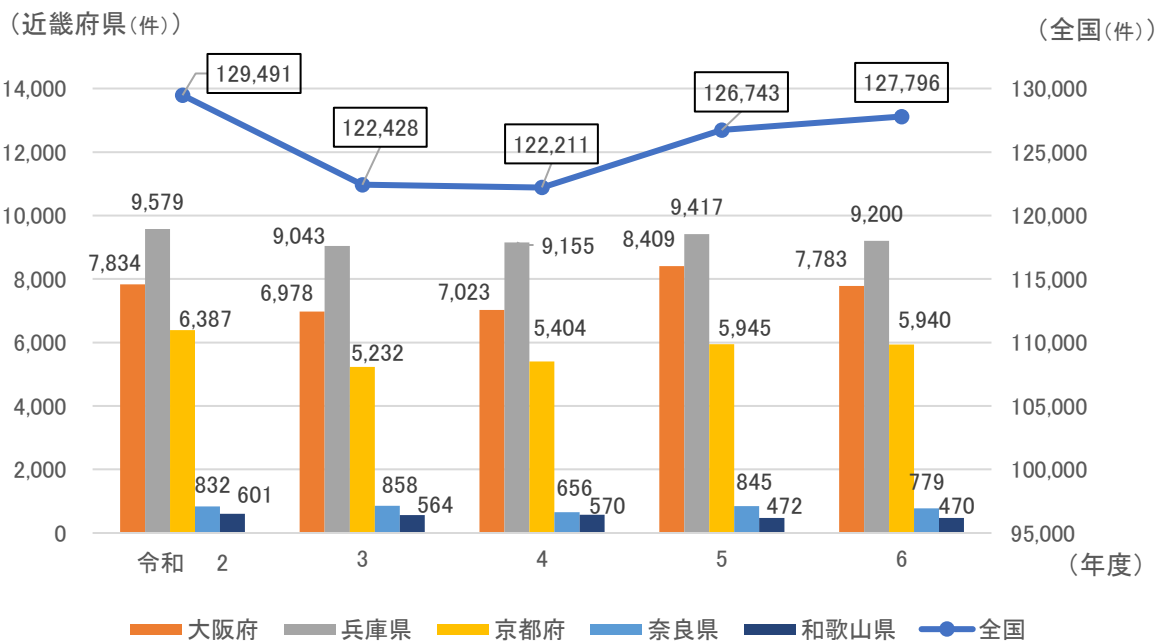
女性の27.5%、男性の21.9%は配偶者から暴力を受けたことがあり、女性の13.2%は何度も被害を受けている。



資料出所:内閣府男女共同参画局「男女共同参画白書 令和6年版」

21 配偶者暴力相談支援センターの相談件数(国・近畿府県)

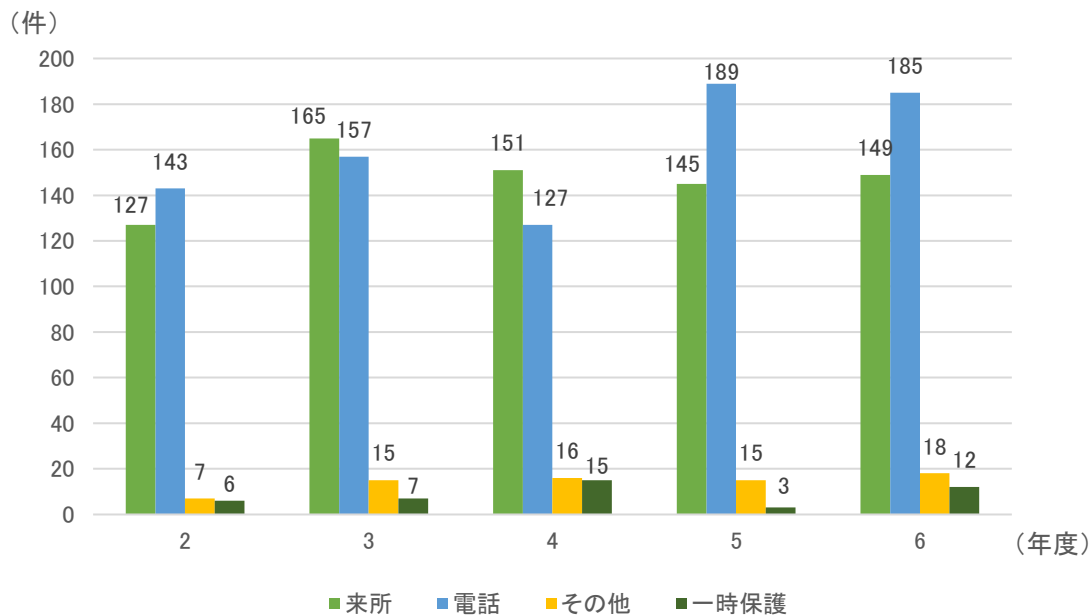
令和6年度の相談件数は127,796件で昨年度より増加した。



資料出所:内閣府男女共同参画局「配偶者からの暴力に関するデータ」

22 和泉市における配偶者等からの暴力に関する相談件数

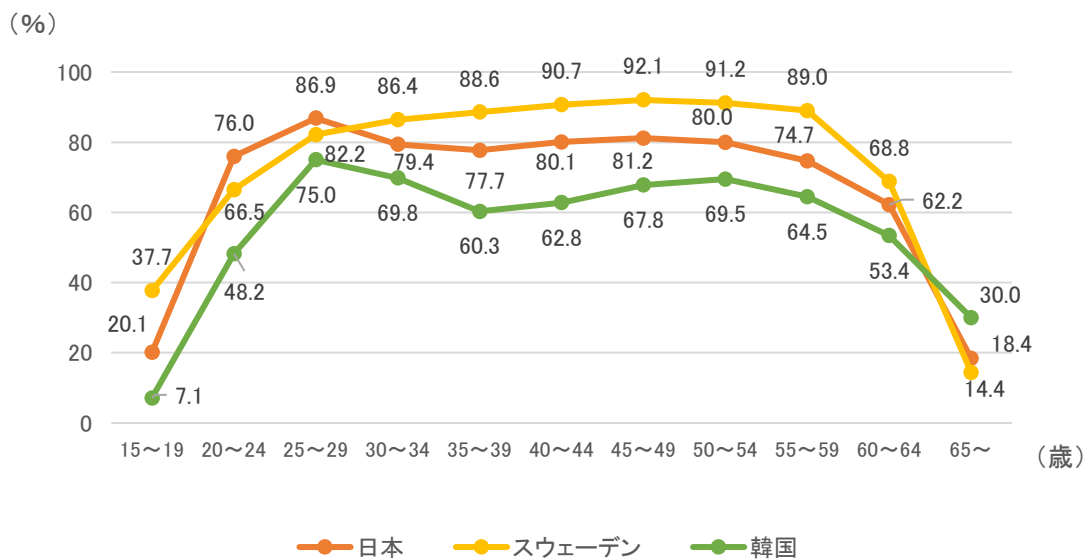
令和5年度に減っていた一時保護の件数が、令和6年度はふたたび増加した。また近年では、電話での相談件数が増加している。



資料出所:和泉市人権・男女参画室調べ(親子関係は含まない)

23 女性の年齢階級別労働力人口比率国際比較

日本の女性の年齢階級別労働力人口比率のグラフ全体の形は、M字型から先進諸国で見られる台形に近づきつつある。



資料出所:内閣府男女共同参画局「男女共同参画白書 令和4年版」

24 ジェンダー・ギャップ指数とジェンダー不平等指数

日本のGGI値(ジェンダー・ギャップ指数)は146か国中118位、GII値(ジェンダー不平等指数)は172か国中22位となっている。

GGI値(ジェンダー・ギャップ指数)			GII値(ジェンダー不平等指数)		
順位	国名	GGI値	順位	国名	GII値
1	アイスランド	0.926	1	デンマーク	0.003
2	フィンランド	0.879	2	ノルウェー	0.004
3	ノルウェー	0.863	3	スウェーデン	0.007
4	英国	0.838	4	スイス	0.010
5	ニュージーランド	0.827	5	オランダ	0.013
6	スウェーデン	0.817	6	フィンランド	0.021
9	ドイツ	0.803	7	アイスランド	0.024
10	アイルランド	0.801	8	ベルギー	0.031
11	エストニア	0.799	10	オーストリア	0.033
12	スペイン	0.797	11	フランス	0.034
13	オーストラリア	0.792	12	韓国	0.038
14	デンマーク	0.791	14	スロベニア	0.042
16	コスタリカ	0.786	15	スペイン	0.043
17	スイス	0.785	15	イタリア	0.043
19	リトアニア	0.783	17	ルクセンブルク	0.044
20	フィリピン	0.781	18	カナダ	0.052
21	ラトビア	0.778	19	アイルランド	0.054
22	チリ	0.777	20	オーストラリア	0.056
23	メキシコ	0.776	21	ドイツ	0.057
27	ベルギー	0.773	22	日本	0.059
29	スロベニア	0.770	23	エストニア	0.061
32	カナダ	0.767	24	リトアニア	0.070
34	ポルトガル	0.767	26	ポルトガル	0.076
35	フランス	0.765	27	イスラエル	0.080
41	コロンビア	0.758	29	ポーランド	0.081
42	アメリカ合衆国	0.756	30	ニュージーランド	0.082
43	オランダ	0.756	31	英国	0.083
45	ポーランド	0.750	32	チェコ	0.088
50	ルクセンブルク	0.745	33	チリ	0.102
56	オーストリア	0.735	34	ギリシャ	0.103
76	イスラエル	0.709	38	ラトビア	0.117
85	イタリア	0.704	45	米国	0.169
97	インドネシア	0.692	48	スロバキア	0.176
101	韓国	0.687	54	ハンガリー	0.213
102	チェコ	0.686	55	コスタリカ	0.217
105	ハンガリー	0.684	59	トルコ	0.227
118	日本	0.666	88	メキシコ	0.358
124	ナイジェリア	0.649	98	コロンビア	0.393

資料出所:GGI値は世界経済フォーラム「The Global Gender Gap Report 2025」

GII値は内閣府男女共同参画局「男女共同参画白書 令和7年版」

いずみデータブック 男女をとりまく状況

令和8年(2026年)3月発行
和泉市総務部人権・男女参画室

〒594-8501
和泉市府中町二丁目7番5号 TEL:0725-99-8116(直通)

(事業受託者:一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団)